

平成31年度 第1回 高山市総合教育会議 議事録

【日 時】 令和元年9月2日（月） 15時00分～17時00分

【場 所】 高山市役所 4階 特別会議室

【出席者】 （構成員） 高山市長 國島 芳明  
教育長 中野谷 康司  
教育長職務代理者 針山 順一郎  
教育委員 打江 記代  
教育委員 野崎 加世子  
教育委員 長瀬 信  
教育委員 白田 美樹

（構成員以外の出席者）

久々野中学校 岡本昌昭校長、生徒の皆さん  
企画部長、教育委員会事務局長、市民活動部長、市民保健部長、都市政策部長、福祉部長、商工観光部長、企画課長、教育総務課長、学校教育課長、文化財課長、学校給食センター所長、協働推進課長、生涯学習課長、スポーツ推進課長、子育て支援課長、企画課係長、教育総務課係長、学校教育課係長、企画課職員

【会議内容（次第）】

- ・市長あいさつ
- ・教育長あいさつ
- ・議題
  - （1）郷土教育の取り組みについて  
久々野中学校における郷土教育  
久々野中学校  
「久々野りんごジュース・オリジナルラベルプロジェクト」 資料①
  - （2）教育大綱の推進に向けた取組みについて  
平成30年度の実績 資料②  
平成31年度の主な取組み 資料③  
各事業の取組み 資料③-1、資料③-2、資料③-3
  - （3）児童生徒等の重大事態に関する対応について 資料④
- ・閉会

【議事要旨】

市 長 （1）郷土教育の取り組みについて  
本日は久々野中学校校長の岡本昌昭先生と生徒の青木詩葉さん、丸山舞季さん、秋月美希さんから「久々野りんごジュース・オリジナルラベルプロジェクト」についてお話しいただきます。それではよろしくお願ひします。

岡本校長 （パワーポイントにより発表）

教育長 教育大綱には、愛着と誇りという言葉があります。皆さんの取組みは、愛着と誇りに繋がる素晴らしい実践だと思いました。地域の人と触れ合いながら親しんでいくことで愛着を持ち、自ら知ったことを自分なりに考え高めることが誇りとなっていると感じました。また、りんごの木を育て人が食べるものを再生産することは、陸の豊かさを守ろうという持続可能な社会を実現する上での重要なキーワードであり、自分達の知り得た魅力をデザインすることで資質能力の向上に繋がっていると感じました。

市長 ありがとうございます。委員の皆様、何かご意見はありますか。

白田委員 小学校からりんごを栽培する郷土学習や三重県の子も達との交流が、中学校の活動に繋がってきていると強く感じました。

野崎委員 保育園から小中学校、そして地域が一つになって交流してきたことがよく伝わりました。お年寄りの方々もどの作品がグランプリになるのかと、地域の皆が楽しみにしていました。今日はありがとうございました。

針山委員 子ども達の生きる力はいろいろな体験から生まれると思います。今回の取組みにより子ども達に大変良い宝物を残してくださったと先生方に感謝いたします。

長瀬委員 きっかけは先生主導だったかもしれませんが、生徒指導を経て、子ども達自身がこれまで生きてきた中で、地元を愛する気持ちを育み、自分が今できることはどんなことだろうと、意欲的に取り組んでいるところが大変すばらしかったと思います。  
また機会があったら、高校生との連携した取組みなども進めていただけるとありがたいと思いました。

打江委員 消費者の皆さんが飲んでみたくなるような、とても魅力的なラベルでした。地域の方もとても一生懸命で、久々野の思いを背負って生徒の皆さんが一生懸命考えられたことがとても素敵なことだと思いました。今回の経験を経て久々野そして高山の魅力をこれからも発信してもらいたいと願っています。

市長 ありがとうございます。部課長からも何かご意見はありますか。

市民保健部長 どの作品も久々野の良さが込められている素敵な作品でした。こういった商品が日本中、さらに世界にまで広まると良いと感じました。

子育て支援課長 久々野に住んでいる者として、こうした取組みはとても嬉しく感じました。後から続く後輩たちが、地域と共に主体的にかかわり、今こうして花開いたことを思うと、これからもさまざまな活動を通して、久々野に貢献してもらいたいと思いました。

都市政策部長 私が久々野支所長だった昨年度、岡本校長がこういうことをしたいが、何とかならないかと言ってみえたことを思い出しました。ここに至るまでに、中学

校や小学校、保育園も含め、地域と一緒にさまざまな活動をずっと着実に続けられたことが、地域をあげての取組みに繋がったと思います。これをきっかけに、また皆さんと一緒に、まちのことを考えていただければと思いました。

市長 それでは、ご意見は尽きたようですので、(1)については終了します。  
岡本校長及び久々野中学校生徒の皆さんは、ここで退席されます。どうもありがとうございました。続きまして(2)教育大綱の推進に向けた取組みについて、事務局より説明願います。

企画課長 (資料②・③により説明)

野崎委員 資料②のNo29の飛騨地域3市1村の連携による若年層の健診受診の促進に向けた取組みについて、自らの健康に関心を持ち自分の健康状態を知るという生活習慣を身につけることはとても大事だと感じています。取組みやPRの方法など、どのような活動をされたか、詳しく教えてください。

市民保健部長 中学校校長会や高校に出向き趣旨を説明し、ご理解をいただいた上で生徒の皆さんにチラシを配付しました。また市内の中学校2ヶ所を健診会場としたことによって受診率が高くなったという傾向が出ているので、来年度もまた学校側と調整をした上で実施していきたいと思っています。

長瀬委員 事業を進めるうえで人材の養成がとても重要だと感じています。養成を含めた人材確保に向けた取組みを計画的に実施する必要があると思いますがいかがでしょうか。

企画部長 将来を見据え長期的な視点でもって取り組んでいくことは大変重要と感じております。また、その人材を育てるためにアドバイスできる側の人材も育てていく必要があると考えております。総合計画の見直しにおいても非常に重要な視点として、各種分野において横断的に具体策を練っておりますが、具体的な部分につきましては、それぞれの分野からご紹介させていただきます。

子育て支援課長 保育士確保のプロモーションでは、中高校生14名にご参加いただきました。今後、彼女彼らたちがまた高山に戻ってきて、ぜひ保育の現場で働いてもらえるようにフォローアップしてまいります。また、こうした取組みを保護者の方々にご理解いただくことで、子ども達にも大きく影響してくると思っておりますので、広報活動にも力を入れて取り組んでまいります。

市民活動部長 地域作りにおきまして、やはり人材は最も重要と考えております。若い世代を含め、人材を養成できるような取組みには新たな支援や学習の機会を設けており、リタイアされても様々な知識や経験、ノウハウをお伝えいただける仕組みも整備しております。人が地域を作っていくという取組みをこれからも進めてまいります。

企画部長 関連してお話ししますが、今年の夏にジモト大学という民間の若者が開催した企画がございました。行政や学校だけではなく民間の若者が高校生に対し、

高山の仕事や頑張っている若者や大人を紹介するといった取り組みでした。これからの時代にあっては必ずしも学校とか、行政だけが旗振り役になるのではなくて、地域や民間などの組織も一緒になって、人材育成に力を入れていくことが重要であり、全体の整理や見える化、コーディネートを行政が実施していくべきと考えております。

白田委員 資料③N○36及び資料③-2のゲートキーパー養成講座についてお伺いします。パンフレットの相談先一覧に電話をすると、ゲートキーパー養成講座を受けた方に繋がるのでしょうか。

市民保健部長 パンフレットの相談先一覧は受講された方には繋がりませんが、身近な方が日頃のちょっとした変化に気づき、声をかけられるよう養成講座を受講していただき、相談先一覧に掲載された専門機関の方に繋いでいただくことをお願いしたいと思っております。

白田委員 民生委員さんも地域の方に声をかけたり、話を聞いたり頑張ってみえるので、養成講座を受講してもらい専門的なことを勉強してもらえるとより一層心強いと思います。

市民保健部長 民生委員さんの受講は今年度から始めた取り組みなので、複数年かけて全ての委員さんに受けていただきたいと思いますと思っております。

打江委員 まず1ページの資料②N○4の子ども発達支援センターの強化についてですが、発達の遅れが心配される児童の早期発見や対応だけでなく、このあとの継続した支援をどのように実施されるのかをお聞かせください。

そして資料③-1にある保育士確保の件ですが、今後は人材不足について、視点を変えて地域枠とか、学費面の援助などを考えていかなければならないと思いますがいかがでしょうか。

子育て支援課長 市では、園児の身近なところで支援が提供できるよう保育士研修に力を入れております。療育も大切ではありますが、週に数回で数も限られている為、毎日生活する保育園の場において適切な支援が行われることが、子どもたちにとってとても大切と思っております。また学校や支援者が変わる度に支援が途切れてしまうことも課題であった為、引き継いでいくためのサポートブックを取り入れました。

視点を変えた地域枠というお話もありましたが、継続的な取り組みとして進めていきたいと思っております。

打江委員 資料②N○6妊産婦の健康支援ですが、産後2週間で受診率が80.6%となっておりますが、受診率はもっと高くなるのではと思っておりますがいかがでしょうか。

市民保健部長 詳細までは把握しておりませんが、里帰り出産をされてる影響があるのではないかと考えております。病院側でも受診されるように奨めていただいております。ちなみに健診を受けられた方の概ね1割程度が少し心配というケースであり、緊急を要するような場合はすぐに保健師が対応しますが、そうでない場

合はしばらく様子を見てから対応しています。

打江委員 資料②N o 2 7のICT機器を活用した教育の推進では、学校規模や生徒数により電子黒板などの設置数も違うと思います。重くて移動も苦慮していると同っていますが、今の課題はどうであるのか、不足感はないかをお聞かせください。

教育委員会事務局長 電子黒板及びデジタル教科書の拡充については、来年度の実施に向けて内部で協議を進めているところです。

針山委員 資料③N o 3 2地域が主体となった子どもの居場所づくりが予算計上されていないのは、これから予算化して向かっていくことだと捉えておりますのでよろしくをお願いします。

それから、スポーツ施設やレクリエーション、健康推進の面から、赤保木の市民プールの移設等整備も含めて、原山地区の開発を進めてはと思います。松倉山のトレッキング、夏はグラススキー、日本一長いジップラインやローラースキー、冬はスキーなど、市民にも満足できる大きなレジャーエリアになるのではないかと考えておりますがいかがでしょうか。

スポーツ推進課長 市民プール自体が老朽化しており、今年度は市が直営で運営しているところです。プールにはレジャーの要素があり、市民の皆さんが夏の楽しみにしてみえる施設を維持していくことは重要と思っております。今後の施設整備計画において、どのような改修が必要なのか検討する中で、いただいたご意見も考慮しながら進めてまいります。

企画課長 具体的な施設名や場所までは申し上げられませんが、市民の皆さんから、そういった楽しいところ、スポーツが出来るところが欲しいといったご要望があることは理解しております。一方で公共施設等総合管理計画の中で提案しているように、将来に向けて過大な施設は維持していけない時代になってきておりますので、飛騨高山ならではの地域特性を活かした、施設整備のあり方などを考えていく必要があると感じています。

市 長 内部の話で申し訳ありませんが、この取組みによって課題が新たに見えてきたとか、それらの課題に対し31年度はこういった事業に取り組むこととしたといった報告が必要と思います。監査の意見書にも上がっているように、新規・拡充事業でも多額の不用額が生じているものなどの内容や取組状況が伝わるような資料にしていきたいと思っております。

企画部長 ご指摘の通りだと思いますので、第2回令和2年度に向けて、課題に対する新たな施策のねらいや取組状況などをお伝えできるよう、十分に留意してまいります。

市 長 いろいろご議論があるところと思いますが、時間の関係もございまして、(2)については終了します。次の(3)児童生徒等の重大事態に関する対応に移りますが、法令に基づく秘匿性の高い内容が含まれますので、会議を非公開としますがご異議ございませんか。

各委員 (異議なし)

市長 それではこれより非公開とします。

※非公開

市長 予定していた議案は以上でございます。その他この機会にというお話があれば伺いたいと思いますが、よろしいですか。(特になし)。  
それでは、進行を事務局に戻します。

企画部長 ありがとうございます。それではご質問も無いようですので、以上をもちまして平成31年度第1回高山市総合教育会議を終了させていただきます。なお第2回につきましては令和2年度の主な取組み等につきまして今年度内に開催を予定しております。日程は改めて調整をさせていただきますのでお願いいたします。  
本日はお疲れさまでした。